

いずみ

発行所 福井県大野郡和泉村公民館
印刷所 松浦印刷所

村内の被害総額

二千六百万圓

突発的集中豪雨は十二日から十三日にかけて三九〇ミリ、村内全般に大被害を蒙らした。なかでも伊勢川、大納川の被害が甚大で一時住民は恐怖におののいた。この被害はジェン台風以来の大被害で、一挙にして交通網はズタズタに切断され、村は孤立化し、生活に大影響をきたした。早速村、議事会、一丸となつて被害の調査に乗り出すと共に、県に対し早期復旧を要請し、応急対策を樹て、関係方面へ高率補助を適用していただくよう陳情した。



九月公民館強讀目標
老人を敬い愛しましょう
老人は人生航路の水先案内者である
老人は人生開拓の先達者である
老人のしわは忍苦、努力の表示である
老人の瘦軀は後人のために肥肉を削った証である
我々が老人を敬い且愛するのには理屈でなく必然である

被害額	
河川	四カ所
道路	一カ所
橋梁	二、二五〇千円
農地	七カ所
農業用施設	二五カ所
林業用施設	一カ所
治山施設	二カ所
計	二、六〇〇千円

村有林の育成状況

村基本財産の育生目的のため八月六、七日助役、産業係長、下穴馬森林組合新井氏が下地区村有山林の現地踏査を行った。検分の結果、植樹後の撫育が行われないうち、以前植樹の箇所も補植を要する箇所もあり、今後の育生は左のように進めたい。

十一月から

待望の国民年金制度がいよいよ始まります。この制度の建前は保険料を納める拠出制ですが、これは昭和三十六年の四月一日から実施されます。この拠出制のことについては七月号のこの欄に簡単に述べておきました。

福祉年金がもらえる人

- 一、老齢福祉年金
十一月一日に七十歳になつている人と、昭和三十六年四月一日に七十歳以上になるため、拠出制の年金を受けることができない人が七十歳になつたときに支給される年金で、月額一、千円です。
- 二、障害福祉年金
傷病になり、その傷病がおつて一級(別表一)に症状が固定したとき支給される年金で、月額一、千五百円です。この場合、傷病にまつた日によつて次のような条件がついていります。

国民年金がもらえます

と、昭和三十六年三月三十一日までに傷病になつた人は、二十歳以上六十九歳までであること
昭和三十六年四月一日以降に傷病になつた人は昭和三十六年四月一日に五十歳以上であること
三、母子福祉年金
夫が死亡したとき、その夫と一緒に生活していた妻が、義務教育終了前の子供(胎児は生れたとき)を養つているときに支給される年金で、月額一、千円です。なお、子供が二人以上あるときは二人目の給されません。

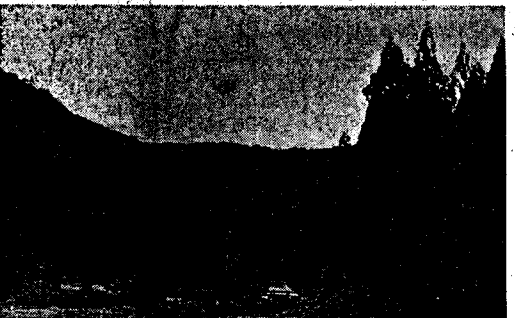
藤沢さん(中竜)

世界ジャンボリーに参加

世界ジャンボリーに中竜の藤沢平一さんが福井県の隊長として参加した。以下その手記
第十回世界ジャンボリー参加に際し、村民の皆さんから御支援下さつたことを深く感謝いたします
今年中に手入を必要とし、真ノ谷官行造林地迄の残地を地へしらえて植林したい。



世界ジャンボリーは四年前に開催され、アジア地域で開催されたのは今回が初めてで、アジア民族の意気と力の歓声が、世界各国に認められ励まされております。ジャンボリーは十日間にわたり盛大な行事がくりかえされ、海外参加国の中から、日本代表に一般の人が集まり、早朝よりスカウト及び一般人の来訪があり、新しい日本を各国にみせようとするのが、国境を超越して兄弟愛に結ばれ、世次を担う青少年諸君が平和な明るい世代をつくる希望にあふれ、大会を有意義にしました。



マツキリン公園はかつて日本軍の激戦地で対日感情は良くなくなつたが、この大会を通じて日本を再認識してもらうことができ、比国よりサインや握手を求める人達で困つたこともありました。
特に感じたことは日本製品が優秀で、各国スカウトより交換を求めたいものは、ちかいかい、おきてによつて有効であります。

められ、土産を沢山もつていかなかつた事が残念でした。
フィリピンはかつて日本軍の突発行動で侵略し、信仰心の強いフィリピン人には日本軍隊の行動は全く悪魔鬼畜と目に映じたことでした。しかし過去の犯した過失に言葉が及ばそうとはせず、かえつて「トモヲシテ」と云つて接近してくれた比国スカウト、一般人には嬉しう思いました。

この調製名簿は三十四年十二月二十日から三十五年十二月二十日まで有効であります。

(別表一)

障害の程度	障害の状態
一	両眼の視力が〇・〇四以下のもの
二	両耳の聴力損失が九〇デシベル以上のもの
三	両上肢の機能に著しい障害を有するもの
四	両下肢の機能に著しい障害を有するもの
五	両上肢のすべての指の機能を有するもの
六	両下肢の機能に著しい障害を有するもの
七	両下肢を足関節以上で欠くもの
八	両上肢の機能に著しい障害を有するもの
九	両下肢の機能に著しい障害を有するもの

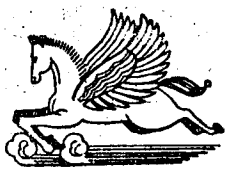
(別表二)

- 1 厚生年金保険の年金
- 2 船員保険の年金
- 3 恩給
- 4 国家公務員共済組合の年金
- 5 条例による地方公務員の年金
- 6 市町村職員共済組合の年金
- 7 私立学校教職員共済組合の年金
- 8 公共企業体職員共済組合の年金
- 9 農林漁業団体職員共済組合の年金
- 10 戦傷病者、戦没者遺族の年金又は給付金
- 11 未帰還者の留守家族手当又は特別手当
- 12 その他の年金

お知らせ

消防演習 八月十九日開催予定の本村消防団夏季演習は八月十三四日の豪雨のため延期九月下旬か十月上旬に開催される予定。
慰霊祭 九月十七日 朝日小学校(下地区) 九月十八日 大和小学校(上地区)
基本選挙人名簿調製 選挙管理委員会は毎年九月十五日現在により、選挙資格を調査し十月三十一日までに基本選挙人名簿を調製することとなつております。この名簿の登録要件は次のとおりであります。
一、年齢要件
昭和十四年十二月三十一日以前に出生したものの。
二、住所要件
今年六月十六日以前から引続き右の該当者に住所を有する者。
三、選挙権がなかつた方、又当村に選挙権があつたが、村内に於て住所を變つたため登録を變更する方は、届託員を通じて委員会へ至急申出下さい。

筆のさんぽ道



(チャンスの神様)
チャンスの神様は我々の目の前を常に...

和泉村未亡人会結成

今度未亡人会も上地区、下地区合併して和泉村未亡人会を結成しました。
会長 池田 艶子
副会長 木島 いさ
荒木 ふみ

老人の日をむかえて

戦後国家再建の為、社会情勢が変化し各種団体の活動も盛んになつて来ましたが、誠に喜ばしい事でもあります。
和泉村に於ても、農事所及び村当局的御指導と御協力により、各部に老人クラブ設立委員を設けられ、昭和三十三年十一月二十七日和泉村老人クラブの設立準備会が出来まして、昭和三十四年七月十二日初総会が開催され、図らずも私が会長に選任されました。和泉村老人クラブの御世話をさせていただきます事になりました。

会長 谷口 市松

老人には老人独自の考え方もあり、一家を明るく楽しく常住の極楽たらしめてこそ、老人倶楽部設立の本旨に副する事が出来る事と思ひます。

台風にそなえて

台風シーズンはこれからです。各家庭では次の点を守つて被害を最小限度に抑へておくことが何よりも大切であります。
一、事前の準備
二、災害時の心得
三、災害後の注意

社会を明るくする月間

「少年が犯罪をした場合」
別表のよびに二十歳未満の少年少女が罪を犯した場合は矯正教育されるが、これは保護処分といふから取調べも家庭裁判所で「少年法」によつておこなはれる。
一人の少年が罪を犯すにつれて、いろいろな原因があるが、環境がわるくても本人に抵抗力があれば罪はおかさないし、犯しやすい性質でも肉親や社会の注意で押えらることもできる。犯罪少年には多量に少年院を退院すると二年間は保護司が連絡をとり、本人の生活状況を調べて正しい生活をするよう保護観察する。

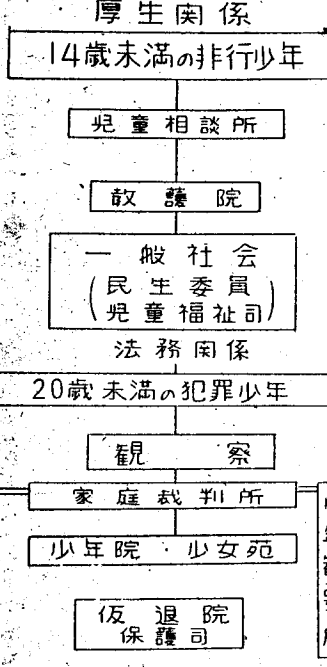
東本願寺始祖 教如上人のご真筆発見

左衛門の二人が白米五斗、銭十五貫文を寄進してくれた。ここは大変居心地のよい所だから、ここに年を越す決心をした。ついでに任居のあつせんを頼む。
天正九年辛巳十月、教如、三島又左衛門へ
と記されている。

部落探訪

東本願寺をお開きになつた教如上人のご真筆らしきものが、本村下伊勢の旧家三島亦二氏宅から発見され、大野市文化財保護委員会の手で調査されています。
たて二十センチ、横三十センチの和紙に
「こんど父から勘当をうけて諸方を流れてきた。このたびは後村(後野区)の五左衛門、大谷の甚

況を調べて正しい生活をするよう保護観察する。
保護司と云うのは刑務所や少年院を出て来た人の生活指導や就職の相談にのつて、ふたたび罪を犯さないように保護指導する無給の全く社会奉仕者であり、民間篤志家であるが全国に五万二千五百名ある。



受賞三題

自治庁長官より受賞
去る六月二日執行された参議院議員通常選挙に、村選挙管理委員会は一致協力して選挙の管理及び啓発に努めた事により、七月十五日国務大臣、自治庁長官から顕彰され、八月二十一日県知事を通じ表彰状並びに記念品の伝達式が行われた。
参議院議員選挙は以前から全国的に大変選挙熱が低く、しかも今

められ、その始祖となられたのである。そこで前からあつた本願寺を西本願寺と称し、東、西両本願寺は両立して並び栄えた事は世間周知の通りである。
この古文書は教如上人のめぐらされたもので、宗教史上大変貴重なものといわれています。
向この教如上人と織田信長が戦つた石山合戦の時に、物資輸送、献金合戦等に此の附近の人々がよく活躍したのをほめになつて五か八箇門徒として語り伝えられたのであつた。そして在職三年で弟の準如上人に譲られた。その後徳川家康の後押しで東本願寺を始

おいて石神与左衛門氏は林業功勞者として同協会長より賞状と記念品を授けられた。
今回の石神氏の受賞は県下で個人表彰及び団体表彰併せて十数名の内に入つたもので、林業家としてこの上ない名譽で喜びに堪えないところである。向この表彰は同氏が山林経営に非常に熱心で、自己山林に十町歩近くの人工植栽による杉の方正林を育成し、又常に村民に対し造林意欲の向上と技術普及に長年尽力した功績が認められたものである。

- 人のおこぎ
角野前坂 平瀬こゆる 利雄長女
下野 山西 英 俊 忠尾長男
後野 東守康次郎 剛 武男
貝 血 島 朝 靖 等 式男
久 沢 周村 朝 清 蔵長男
板 倉 森尾 明正 正一武男
伊 勢 鎌倉 和夫 光雄四男
箱ヶ瀬 三島 昌則 幸雄武男
中 鷲 大町啓子 伊太郎長女
中 竜 石原千代美 正香長女
中 竜 竜 関 道厚 時彦長男
(婚姻)
○兵庫県多可郡加美村吉岡 伊夫
川合 新井さくの
山田まつる
○箱ヶ瀬 春日井市大泉寺町 稻垣芳九郎
三島 行弘
○箱ヶ瀬 熊本泉水俣市 大戸迫スエ
関 時彦
○中竜 泉 伊藤 みよ
梅田 君子
(死)
野尻 原田 銀作 六三歳
下野 宇野 たま 七七歳
持 穴 大久保秀松 八四歳
野尻 古川 譲治 八歳
伊 勢 中山 てつ 八〇歳
久 沢 橋本こちく 八三歳
野尻 尾崎 さく 七七歳